

平成二十八年九月の作品（九月九日（金））（第四十三回）

（於 文京シビックセンター 5階D会議室）

接伴の舞妓芸妓や秋燈あきともし

（一江）

古民家の軒覆ひたる牽牛花

（隆治）

柔道をせし戦友のこと秋彼岸とも

（清助）

朝日浴び筑波へ続く稲穂かな

（貴美）

つくつく師ひたすら歩く尾瀬沼へ

（奉男）

体操の掛け声消えて秋の空

（太郎）

散村の眠りを誘ふ落し水

（前歩）

熱闘が暑さに拍車リオ五輪

（正雄）

かの人の生まれ変はりか秋の蝶

（平六）

岩魚釣まともに浴びる水しぶき

（孝昭）